



食育だより

令和6年9月

藤枝市教育委員会学校給食課



藤枝市では、各小中学校で年間計画に沿い、児童生徒の実態に合わせた様々な食に関する指導が行われています。市内の各学校で行われた食に関する指導の一部を紹介します。

藤枝中央小学校

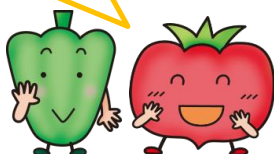
2年 生活科「やさいのひみつをしよう」

野菜が自分の体にとって大切な働きをしていることを知り、実際に一食に必要な野菜の分量を見ることによって、いろいろな野菜を食べようとする意欲を高めることができました。

この日の給食では、「いつもは始めに野菜を全部減らしていたが、全部減らさず少しお皿に残していた子」、「嫌いなものは平気で残していたが、時間いっぱいまで頑張って食べている子」など、前向きな姿が見られました。

野菜には『バリアパワー』と『おそうじパワー』があるよ。

一食に食べたい野菜の量



☆子どもたちの感想☆

- ・野菜は、おなかの中をきれいにしてくれることがわかりました。きれいな野菜をもっと食べられるようになります。
- ・野菜をいっぱい食べて、かぜに負けないようにがんばりたいです。
- ・野菜が苦手だけど、野菜をいっぱい食べて野菜パワーにはたらいてもらいたいです。

青島北小学校

4年 学級活動「食品ロスについて考えよう」

日本の食品ロス問題を知るとともに、この問題が自分たちの身近なこと…給食の残量などにもつながっていることに気づきました。

授業の中で、給食の残量がどのくらいあるのか、残量はこの後どうなるのか、給食残量からたい肥をつくることなどについて学び、自分たちが食品ロスを減らすためにできることについて考えました。

食べ残した給食は、どうなるの？



給食センターで出る生ごみは、ほとんどが、燃えるゴミとして焼却処分される。
→毎日同じくらい残すと…
青島北小分だけで、一年間でかかるお金は12万3千円！

【食品ロスを減らすためにできること】 子どもたちからの意見

- ・食べ物が残っている時には、しゃべりすぎたり、遊んでいたりしないでしっかり食べる。
- ・嫌いなものでも、少しは食べる。
- ・まずは食べてみる！
- ・食べ物の期限を意識する。
- ・給食の場合
上手にわけきるようにする。
食べる時間をつくるために、早く準備をする。
食べる量が少なすぎないようにする。



☆子どもたちの感想☆

- ・食品ロスはもったいないと思う。給食を減らしたり残したりしないで、ちゃんと食べようと思う。
- ・食品ロスを減らすために、自分ができていることをやってみようと思う。
- ・買い物に行ったときには、「手前どり」をしようと思う。

給食残量からたい肥作りをしている塚本さん

もったいない、何かできることはないかと思う気持ちから、たい肥作りを始めました。



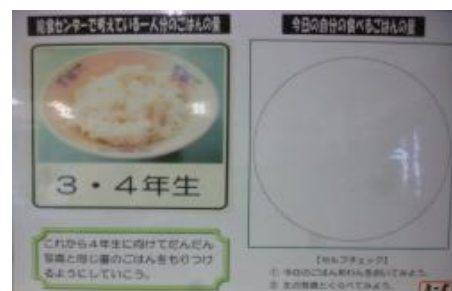
毎日元気に過ごすためには、どんな食べ方をしたらよいかを考える授業を行いました。2年時に学習した食べ物には3つの働きがあるということを確認しました。

3年生になり、主食の量や副菜の量が少しずつ増えている給食のこと、それは体が成長するために必要な量が増えているからだということを知りました。3年生に食べてほしい量を盛り付けた給食の写真と自分の給食の写真を比べて、体に必要な量を食べられているかを確認し、これからどんな食べ方をしたらよいか考えました。

自分の給食の写真を
見て、確認しま
す。



3年生のごはんの盛り付け目安量



☆子どもたちの感想☆

- ・苦手な食べものがあったけど、それぞれいろいろな役割があるから苦手な食べものもしっかり食べたい。
- ・2年生のころはあまり食べられなかったけど、3年生になっていっぱい食べられるようになってきた。体が成長したから食べられるようになったのかな。
- ・じょうぶな体をつくるために、だんだんを残す量を減らして、最後は全部食べられるようにしたい。



給食センター見学会

8月2日（金）に給食センター見学会を中部給食センター（緑町）で行いました。学校の夏休みを利用して、ふだんは衛生管理のため職員以外は立ち入ることができない調理場に入っただけでした。

募集開始から多くの方の申込みをいただき、当日は36組91名の親子のみなさんが参加してくださいました。給食センターのふだんの調理の様子を動画で見た後に、調理員と同じように身支度、手洗いをしてから食品模型などを使った模擬調理体験を行いました。



【揚げ物機】
水に浮かんだ模型を裏返します。



【平釜】
食材に見たてたペットボトルのふたをかき混ぜます。



【煮炊き機】
汁物に見たてたボールと水を計量します。

参加者のみなさま、ありがとうございました！

